

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年6月号(第6号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。【創世記3章6節】

今もこの手口が存在するのか知りませんが、以前、「消防署のほうから来ました」と言っ
て、消火器や火災報知機を高額な値段で売
りつける悪質商法がありました。ミソは「消
防署の“ほうから”」という言葉です。人を騙
す時には、巧妙に言葉を使います。聖書の中
にも、人が言葉のトリックに騙され、食べて
はいけない木の実に手を伸ばし、食べてしま
う事件がありました。そして、この事件が、
今も私たちに大きく影響しているのです。

前回、エデンの園にあるどんな木でも思い
のまま食べて良いこと、しかし、「善悪の知識
の木」からは、取って食べてはならず、取っ
て食べる時、あなたは必ず死ぬ、と命じら
れた箇所を取り上げました。今月は、その続
きですが、上記の聖書のことばを見ますと、
取って食べてしまったことが書かれていま
す。ここに至る経緯ですが、まず、蛇が登場
します。この蛇は、女性に次のように話しか
けました。「あなたがたは、園のどんな木から
も食べてはならない、と神は、ほんとうに言

われたのですか。」蛇は言葉巧みに話しかけ
てきます。下線を引いた所に注目してくださ
い。そして、5月号がお手元にある方は、5月
号の「今月の聖書のことば」と照らし合わせ
てください。神は、蛇が言ったようには命じ
ていません。神は「あなたは、園のどの木か
らでも思いのまま食べてよい。」と言われた
のです。唯一食べてはいけないものとして
「善悪の知識の木」を挙げました。しかし、
蛇は、巧みに話しかけ、女性に考えさせます。
そして、女性はこのように応答します。「私た
ちは、園にある木の実を食べてよいのです。
しかし、園の中央にある木の実について、神
は、『あなたがたは、それを食べてはならない。
それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬ
といけないからだ』と仰せになりました。」

女性は的確に答えているように見えます
が、実は違います。まず、神の恵みを小さく
します。神は「“思いのまま” 食べて良い」と
言われたのに、「園にある木の実を食べてよ
いのです」と言います。また、「それに触れて

もいけない」と勝手にルールを作ります。更に、「あなたがたが死ぬといけないからだ」と言っていますが、神は「必ず死ぬ」と言われたのです。神が言われた規準も勝手に引き下げます。こうなると勝負ありです。蛇の思うつぼです。そして、蛇は、力強く断言します。

「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」まず、蛇は「決して死にません」と断言します。そして、神は、あなたがたに隠し事をしているのですよ、神のようになれる

(「神になれる」のではないことに注意!) ことを隠しているのですよ、といったことを匂わせ、神への不信感を植えつけます。すると、今月の聖書のことばにあるように、女性が実を取って食べ、夫も食べてしまいました。神の命令ではなく、蛇の言葉に耳を傾けてしまったのです。これが、聖書が語る「罪」の始まりです。人類に罪が入ってきたときの出来事です。以前触れましたが、この世が創造された時は、「それは非常に良かった」と言われる世界でした。しかし、人が神のことばではなく、蛇の言葉に耳を傾けてしまったことで、人類に罪が入ってきました。そして、人が次にどのような行動をとったのかと言うと、聖書には次のようにあります。「彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞いた。それで

人とその妻は、神である主の御顔を避けて園の木の中に身を隠した。」(創世記3章8節)人は、神の声を聞くと、神を避けて、身を隠してしまいました。これまで神と共に過ごし、神のことばに従って生きていたにも関わらず、神の声を聞くと、身を隠してしまったのです。これが、罪が入り込んだ人間が神に対してとった行動です。しかし、神は隠れてしまった人に対してこのように語り掛けます。「あなたは、どこにいるのか。」(創世記3章9節)これが、神から離れてしまった人間に対して、神が語り掛けている言葉です。

神は、当然人がどこに隠れたのか知っています。しかし、語り掛けます。これは、現代においても、神から離れて生きている全ての人に語り掛けられている言葉です。

「あなたはどこにいるのか」

この言葉に、あなたはどうか応答しますか？

◆コラム

神は、「取って食べる時、あなたは必ず死ぬ」と言われました。しかし、実際には、彼らの肉体は死にませんでした。それでは、「決して死にません」と蛇が言ったことは正しかったのでしょうか？それは違います。人は取って食べた時、確かに死んだのです。それは、肉体が死んだのではなく、霊的に、神の前では、死んだ状態になったことを意味します。聖書は、神から離れている状態について、たとえ肉体が生きていても、霊的に死んだ状態と考えます。ですから、神の命令に背き、木の実を食べた時点で、人は神の前で死んでしまったのです。使徒パウロは、イエス・キリストを信じた人の以前の状態について、「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって」と語っています。しかし、聖書には、キリストを信じる者には、新しいいのちが与えられることが約束されています。本当に感謝な約束です。ぜひこの「いのち」を求めてください。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～11:45
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。